

新撰大匠雜形大全
壹

山金

新撰大匠離形卷之一目錄



① 明神鳥居割法めうじんおゐり

② 大地造り地繪畵法

③ 大地之本尺割法

④ 大床下造り仕法

⑤ 幣軸照障子の仕法へいちくしやうしやう

⑥ 照障子の割方仕法しやうしやう

⑦ 高欄の割方仕法かうらん

⑧ 幣軸木割之法へいちくぎ

⑨ 虹梁の割法こうりやう

⑩ 虹梁下端ゆゑんくゝ之仕法（こゝろりやうしくだんゆゑんくゝのしりやう）

⑨ 頭貫上端畚取様の法（かぶらぬきうしだんべんしゆりやうのりやう）

⑧ 唐花結をた（からなむすむす）

⑦ 肘木墓股割法（ひぢきくろももこりやう）

⑥ 唐戸割の法（からどこりやう）

⑤ ニッ斗皿斗肘木組上法（にっとうひらとうひぢきくろももくぐみじやう）

④ ニッ斗下裏之割法（にっとうしたうらのこりやう）

③ 雲肘木卷斗大斗四斗割法（くもひぢきまきとうだいとうしとうこりやう）

② 角斗角肘木割法（すゝとすゝひぢきこりやう）

① 二十二枝榑割并木口大さ割法（ふじゅうにしきこりやうなひぎくちだいさこりやう）

②

出組隅之組上の法

③

二夕手先隅組上の法

④

出組平組出シ之法

⑤

三ツ斗隅地組上の法

⑥

出組隅地組上の仕法

⑦

出組平地組上の仕法

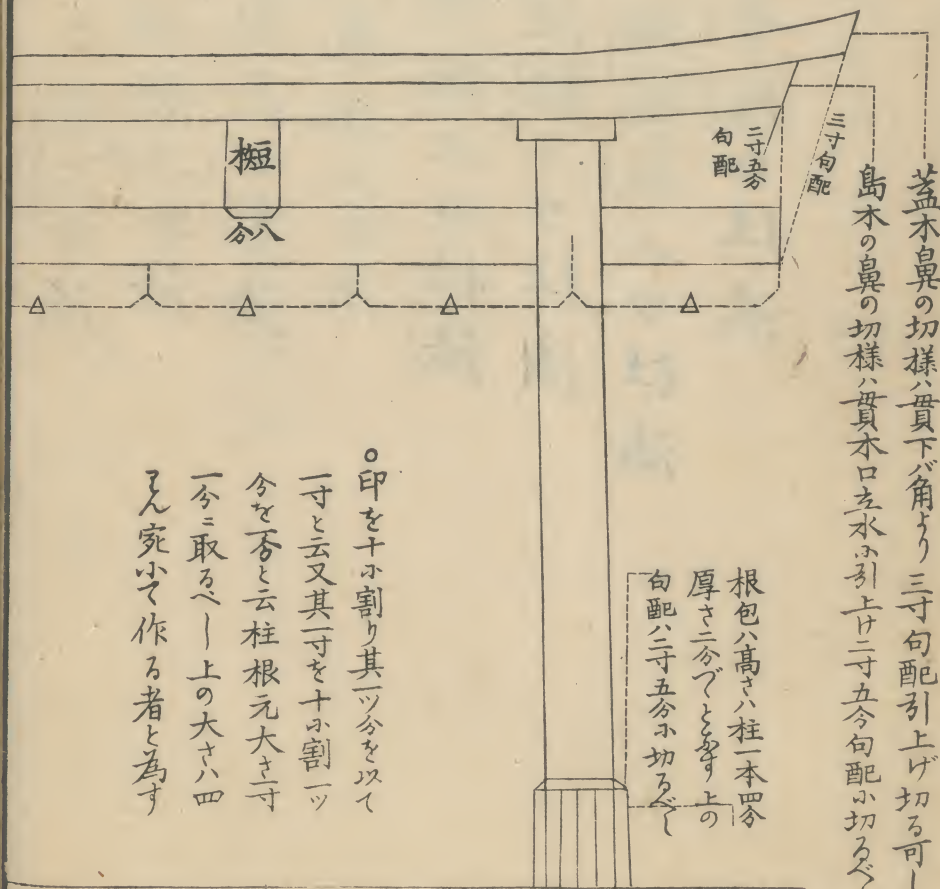
⑧

二手先隅地組上の仕法

⑨

二手先平地の仕法

追 真 りよ真の間の地ハ印



印を十割り其ツ分を以て
一寸と云又其一寸を十割一ツ
分を否と云柱根元大さ一寸
一分ニ取るべし上の大さ八四
分宛小く作る者と為す

根包ハ高さハ柱一本四
 厚さ二分づとむす上の
 白配ハ二寸五分ハ切るべし

蓋木鼻の切様ハ貫下_二角_一より三寸_二配_一引上げ切る可_一

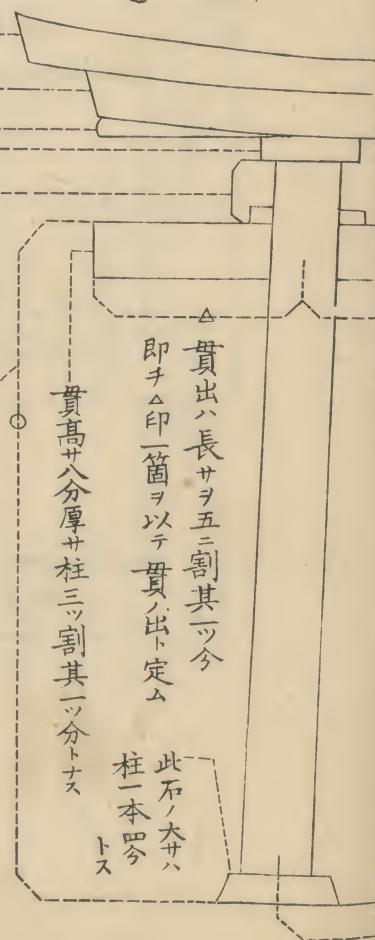
島木の鼻の切様ハ貫木口立水引上げ二寸五合配ふ切るべし

二寸五分
句配

三句配

極
八

蓋木の作り様ハセハ柱の
零ニ取り棟ニ寸句配とあり
下の大さハ柱の大さと同ド上の
大さハ左圖の▲印の墨の如く
句配不上へ引上げ寸で定むる
島木の作り様ハセハ柱の
六分ニ取り上の大さハ八分
五厘とあり下の大ハ七分
とあり



貫出ハ長サヲ五ニ割其一ツ今
即チ△印一箇ヲ以テ貫ノ出卜定ム

此石ノ大廿八
柱一本四
トス

貫高サ八分厚サ柱三ッ割其一ッ分トス

此乃柱一本

此臺輪ハ三兮ハ柱承ハ罍

此老ま木下ハニ今そり

此處木せいの増—二分とす

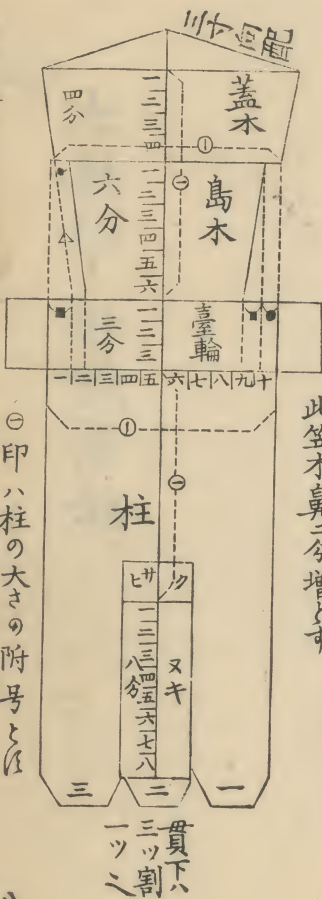
此笠木鼻二今増とす

此貫上バマテの高さを取るハ

○印の地間の寸を以て其高さを

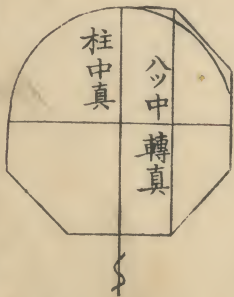
為すべ

印柱十二割のツ分り



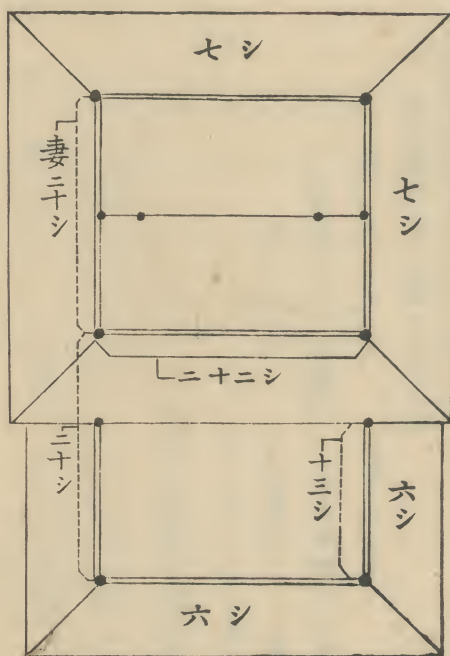
① 印ハ柱の大きさの附号と爲
● 印ハ柱の七五毛と爲

ハツ中轉の取樣ハ圖の如く八角ニ割
其角を以て轉びの墨と定むべし

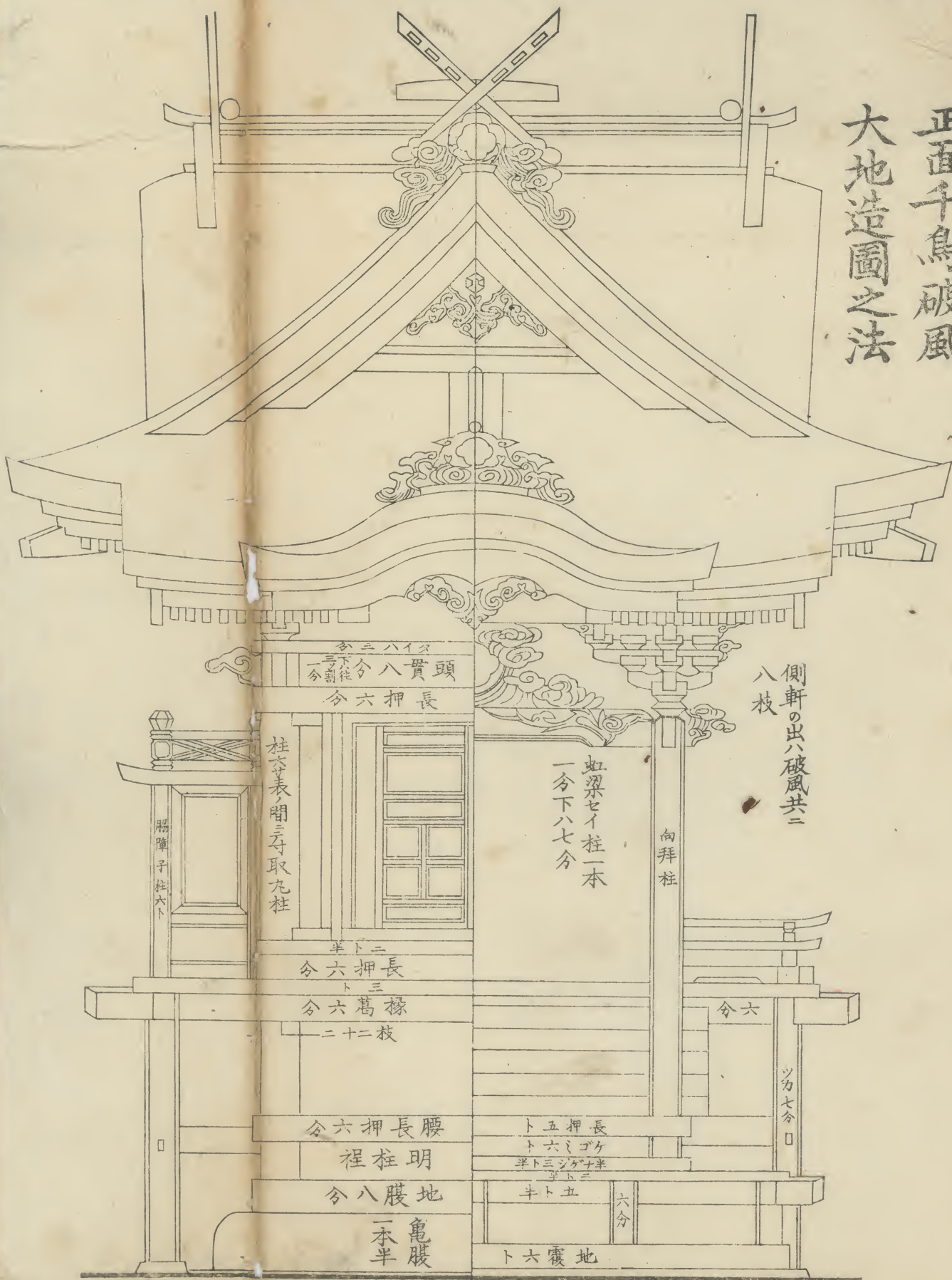


(二)

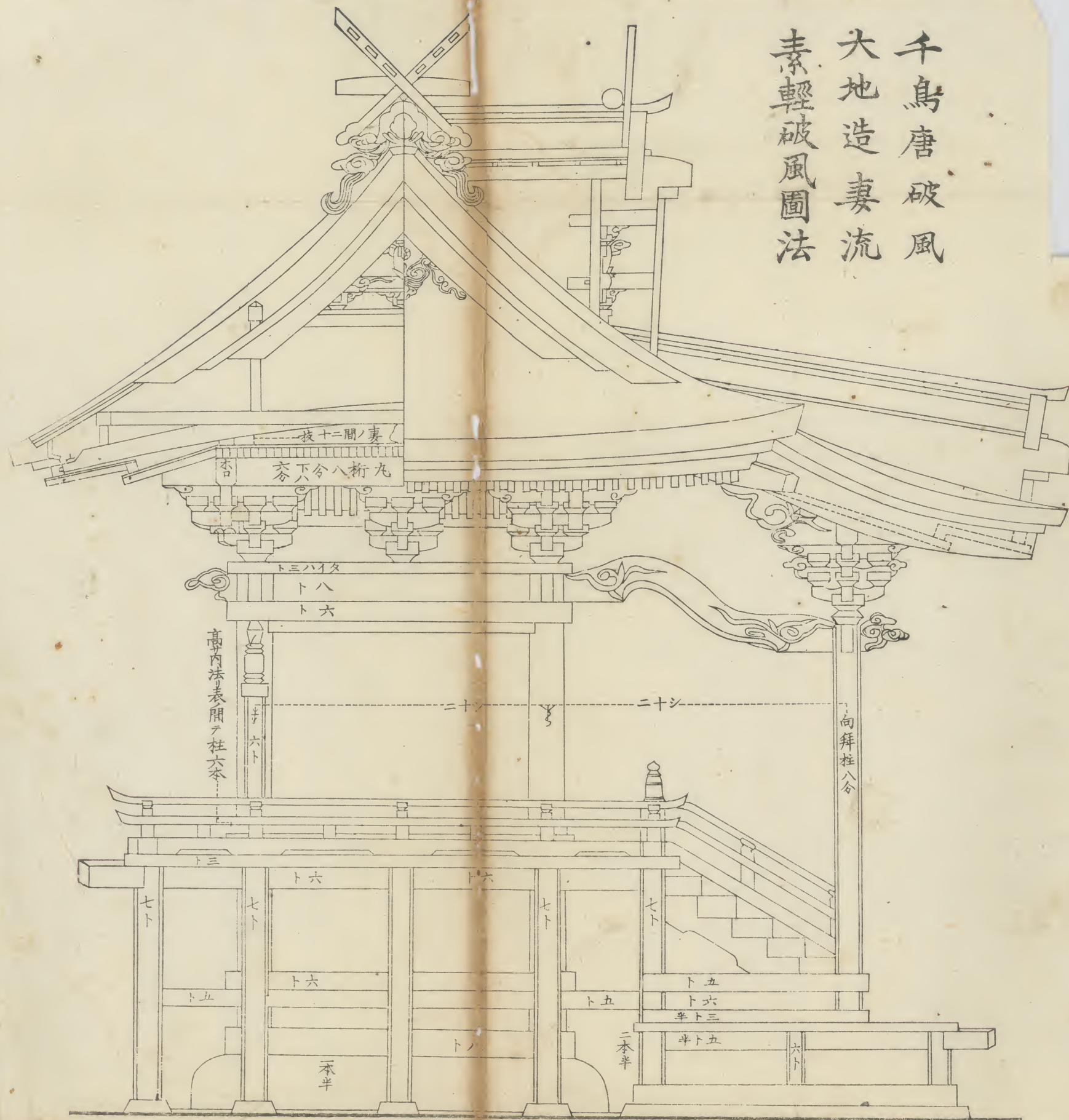
大地造り地繪圖法



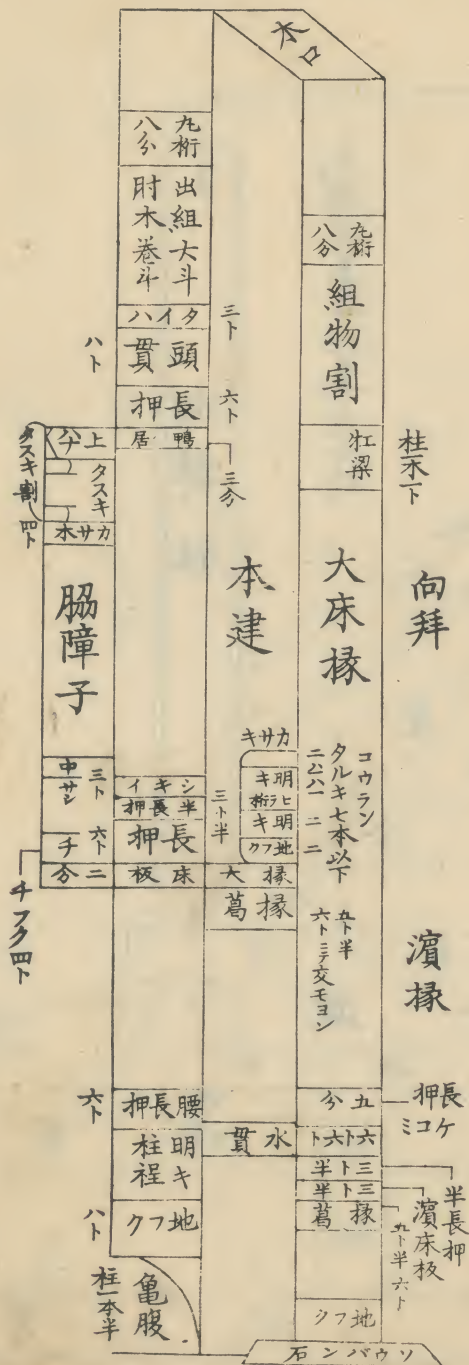
正面千鳥破風
大地造圖之法



千鳥唐破風
大地造妻流
素輕破風圖法

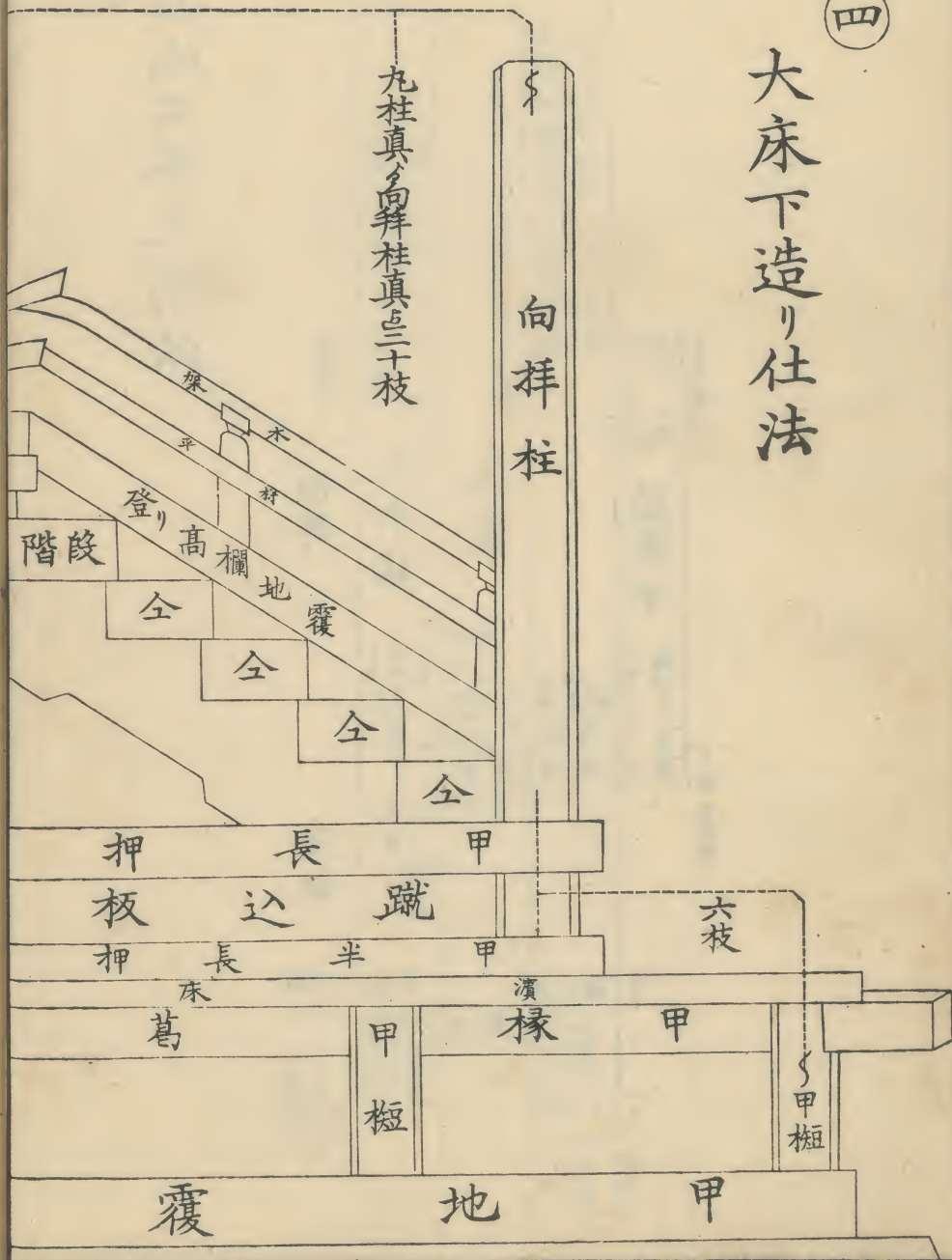


大地之本尺割法





大床下造り仕法



枝拾二迨真分真間，妻

七枝

丸柱

三令	居	數	寄	
零	押	長	半	乙
六令	押	長		乙

今三	板	床	大
六今	葛		椽

乙
椽

腰長押

十 分 キ ア

乙地覆

腹 龜

貫水六分

濱床板上今地ヲ
下八迫九柱二本半之

掾板上龜腹素追丸粒七本半一

六合

八分

十五分

大地造り壺間社の作方ハ先ツ丸柱の大きさを定む丸柱の寸法取様ハ表の間を十割り其ツ分を以て丸柱の直經の寸法と定む又此圖式ニ何分取と云ふ此丸柱を十割り一令又ハ二令より十に至るの割合を示すあり例令へば五令取と云ふ其丸柱の直經を十割其五ツ分を以て五令取と云ふ以下之に倣へ

向拜柱ハ丸柱を標準として八令取りとあり角柱を作る又面の取り様ハ此角柱の方の寸を見て其れを七割りツ分を兩方の面と為すべし又向拜の丸桁高さハ長押下バ丸桁下バと見通して為すべし

地震の寸取の定法

亀腹の寸取定法

- 甲 六分取り
- 乙 八分取り

- 丸柱の直經一本半

腰長押

- 六分取り

椽葛

- 甲 五令半取り
- 乙 六分取り

大床板 三分取り

半長押 甲三令五ろん
乙三令五ろん

濱床板 二令五ろん

水貫 高六令取り
厚二令二厘取り

蹴込 高六令取り

表間 二十二枝

大床の出 七枝

全高柱七本半

長押 甲五令取り
乙六令取り

寄敷居 三分取り

椽 極 甲六令取り面七割ツ分あり
乙七令取り面七割ツ分あり

段階 高六令取り

幅其間之割合合二當ヤ此上
二令半の蹴板を付く

何き 柱一本とあす

表の間 二十枝

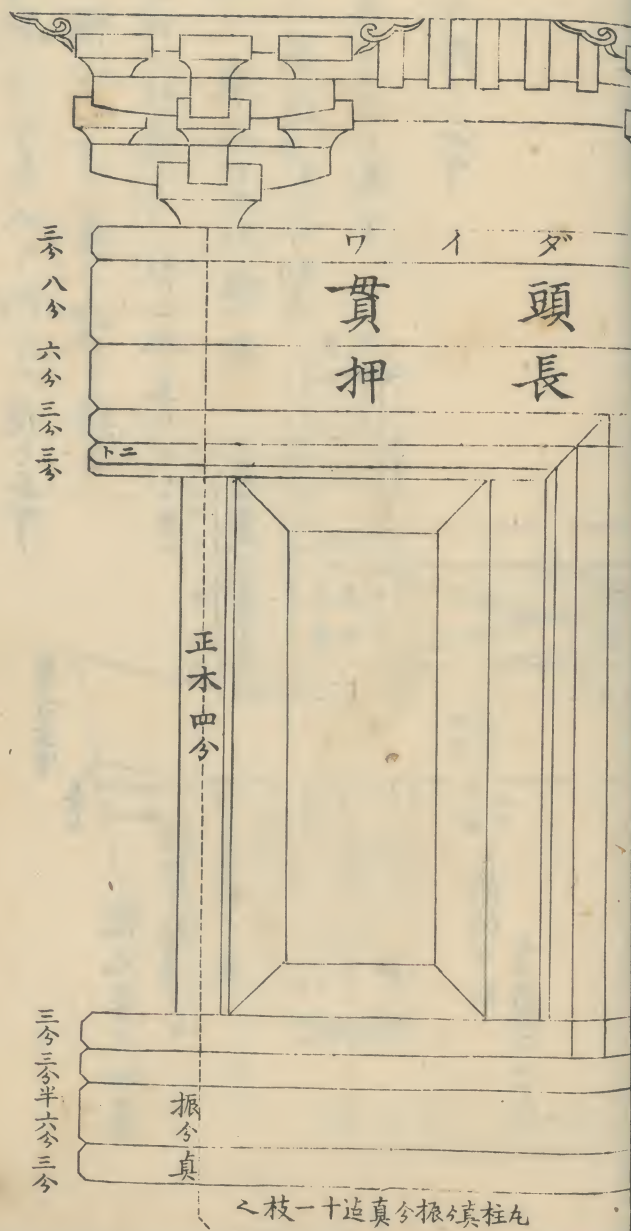
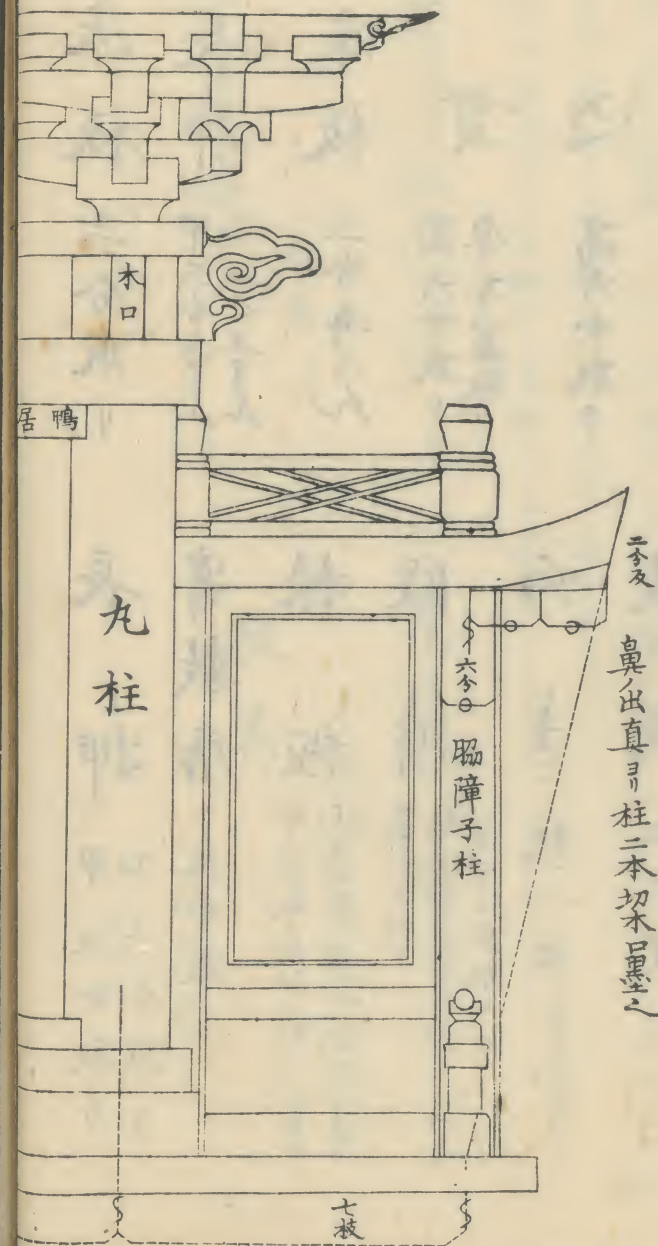
向拜 二十枝

濱床の出 六枝

全高柱二本半

五

幣軸股障子之仕法



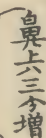
長押下より半長押上バ迫内法ハ柱六本と一臺輪やきときハ六本半とおまづ
 鴨居 三分取り
 臺輪 三分取り
 長押 三分取り
 組物ハ別圖ニ現ハす就て見るべし
 虹梁 高柱一本一分 下バ七分
 海老虹梁 高八分 下バ七分

六

其鼻の出ハ柱真より柱二本と云

根元より筋違に引上げ切る

上ハ三令増とふす



五

根元真分切墨

脇障子柱真五十八

ノ出柱ノ二本

九柱ノ六分

七	六	五	四	三	二	一
---	---	---	---	---	---	---

下八幅
七分

▲ 脇障子柱

七ツニ割一ツメシ之



目無

半ツ

半

主中外面

一柱三ツ割

ニ頭貫下ハ
ツナリ

三

丸柱

九柱木口之

一二三四五六七八九十

真

枝七迨柱况分真柱障脇

多八頭貫長押 力才

⑦ 高欄之割方仕法

凡ソ高欄之割方ハ

柱ノ寸法を起す

柱ハ九柱の六分取り

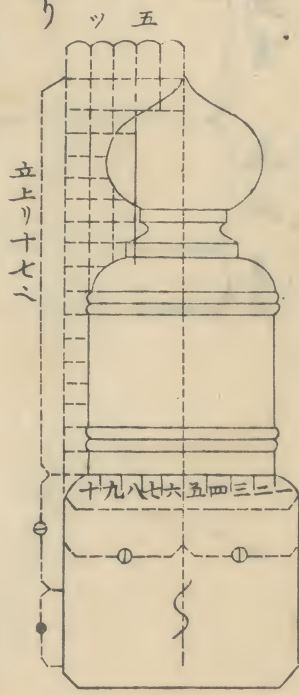
地震ハ柱下バの幅二倍を以て

別圖の如く角ミ

造るべ

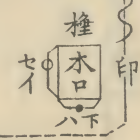
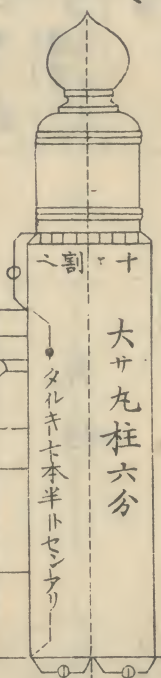
平桁ハ柱の下バ寸を以て勢

と成 幅ハ柱下バの二倍とす

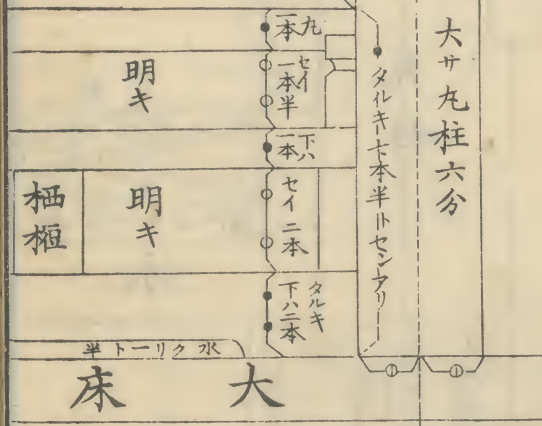


木口柱六分

印 柱下ハ
印 柱セイ
印 真



七枝



架木ハ圓く作り経ハ柱下バ

の寸を以て為す

柱の真々舛極の真迫七枝とす

大床板ハ九柱の三令取とす

柵欄ハ地震の八分角とふ

舛極ハ地震の八分角とふ

水標ハ柱下バ十三割り

其一分五を以て

す

地震と平桁との

あきハ柱セ二本と

平桁と架木との

あきハ柱セ二本半

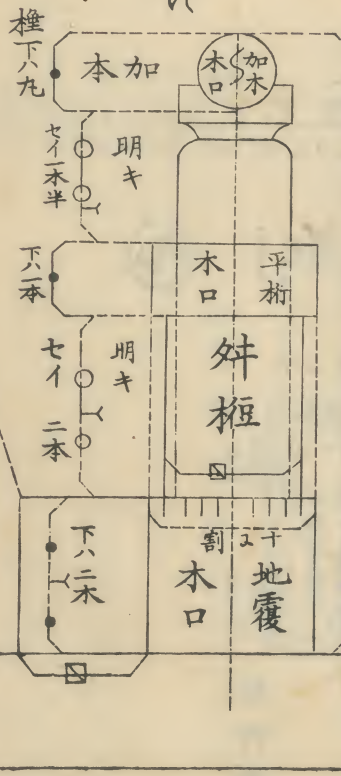
と為す

水口地ライ六角分三寸向配切

撮板厚サ

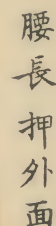
三分

柱セイ三本半同下四本合七本半



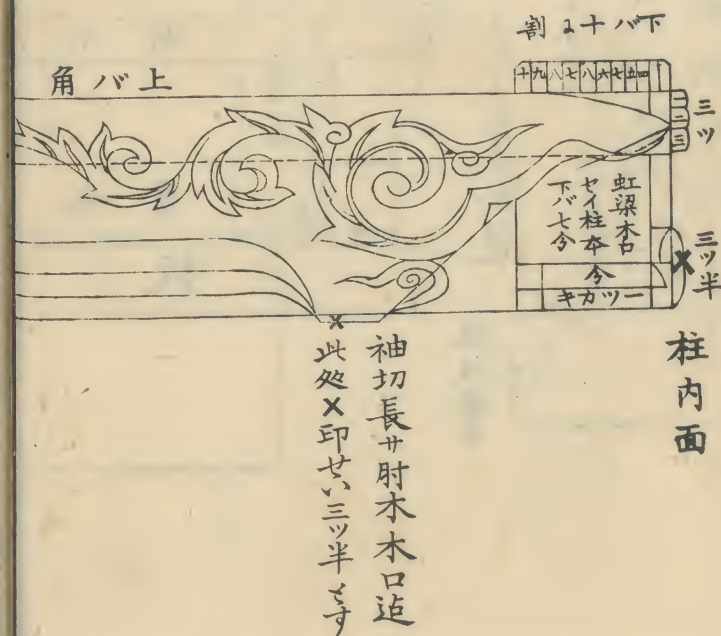
加木真三寸向配

唐戶櫃



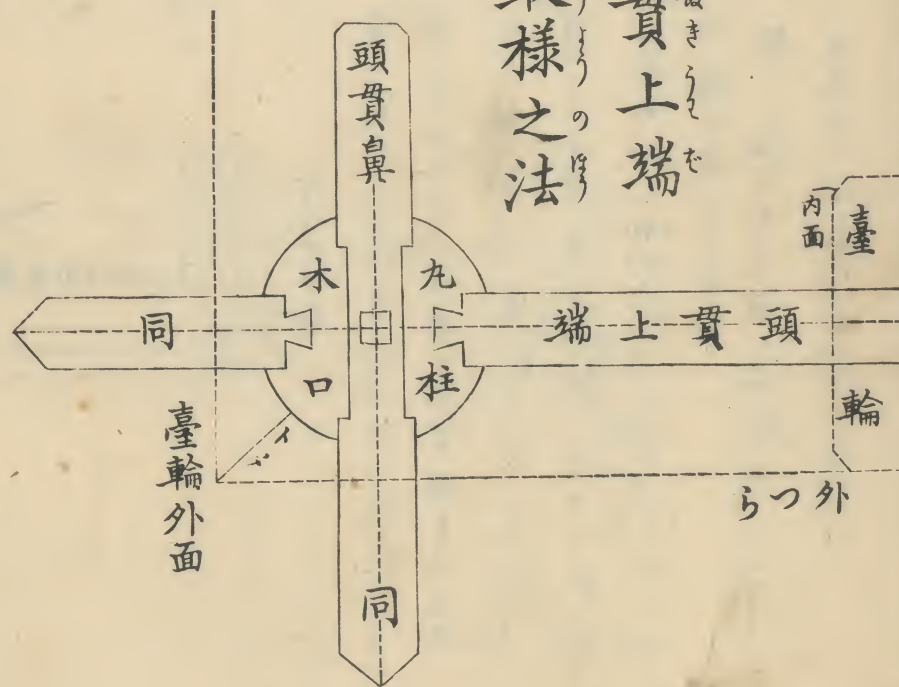
三ツ	三ツ半	(ヲイノカギ様
二二三	四五六七	
大ツ半	三羊	
セイト	割	

唐戶櫃



法仕之たのんゑゆ端下梁虹（十）

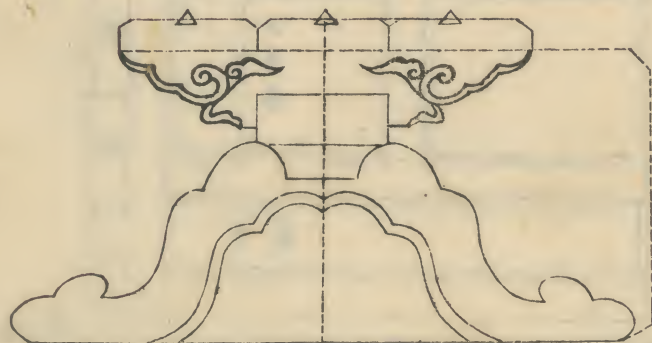
頭貫上端（十一）
圖取樣之法



たむ結花唐（十二）



法割股墓木肘（十三）



三ツ半組物高サ

①

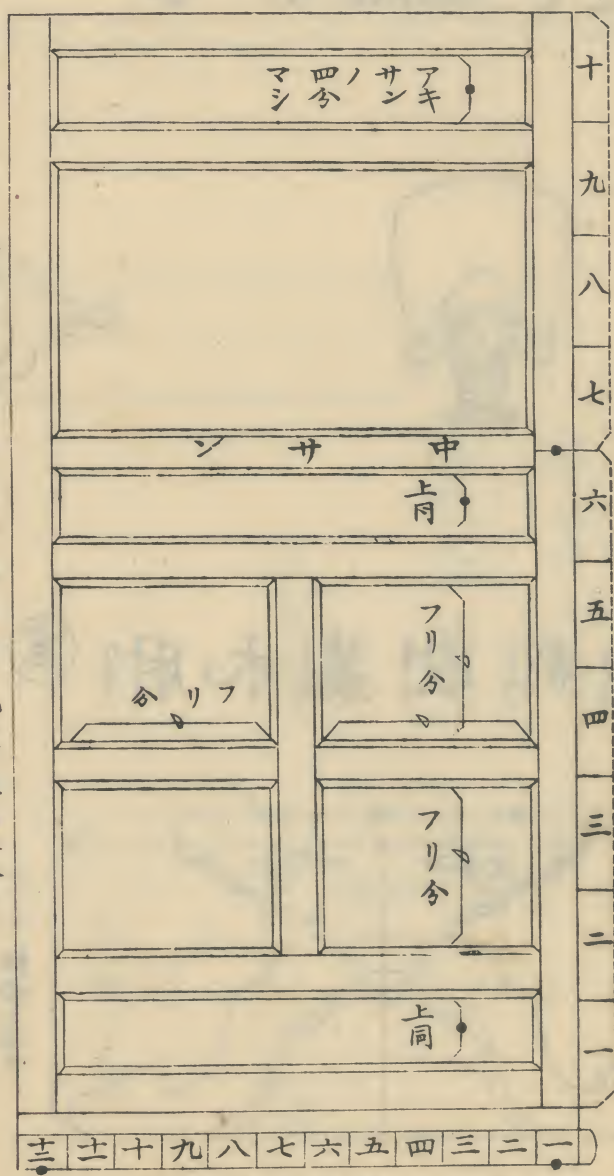
唐戸割之法

四ツ

十ツ割下より六ツ中さん

六ツ

尾込櫃の
八分



唐戸割ハ方堅内法を二十四分し一分櫃前巾見込櫃セ八分す
 ちくべり櫃ハめん程まゝを致しめん割の高さ十分下より
 六分上り中さん真上四ツさん大さ櫃程上中下の明きさんの四分まゝ
 ・印あり 右之圖の如くして可なり

十五

三斗斗肘木組上法

●印ハ檼下バ檼一校の附号とす
 ◎印ハ檼せハ木間の附号とす
 △印ハ上圖の如ク檼下ハ三斗

間一ツトを合せし者にて

大斗せハ全斗尻卷斗

大さ四斗斗尻雲肘木

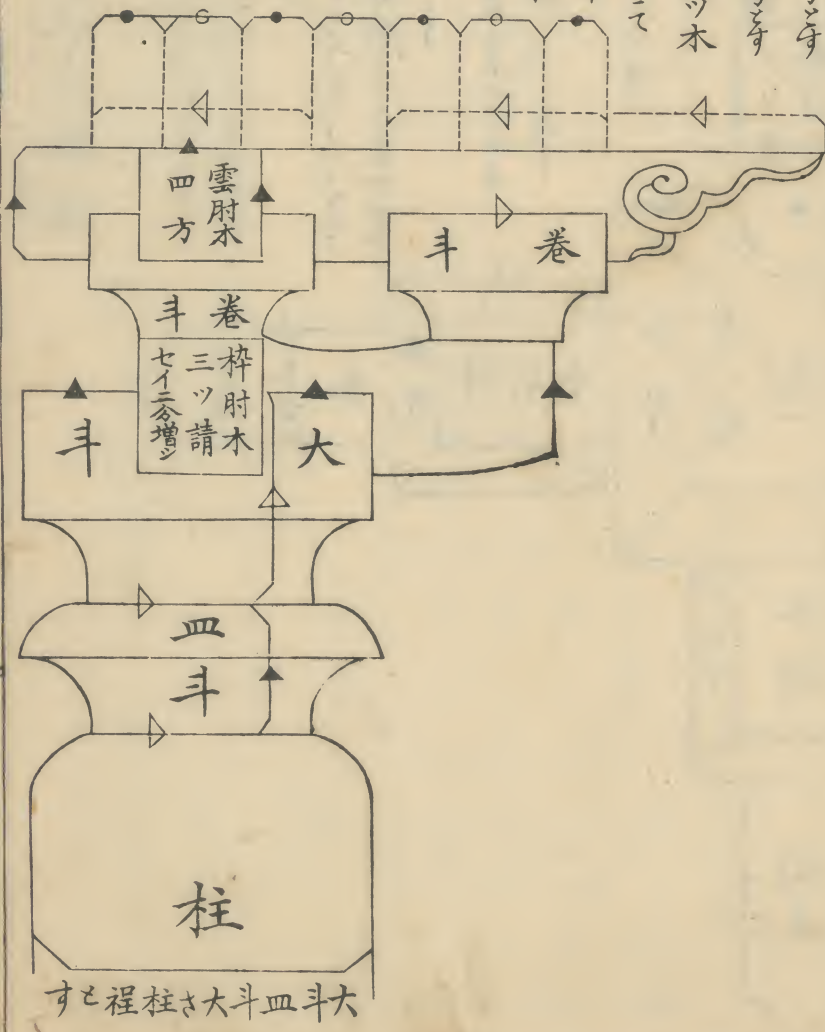
ノ鼻ノ長さ等ニ用ゆし

▲印ハ大斗大さ三ツ割ツ今

ニハ肘木下バ四斗せハ

雲肘木四角梓肘木鼻

の木口四方小用ゆ



夫三ツ斗下裏之割法

△印ハ大斗の斗尻ハ先づ大斗の大きさ寸を五ツ分割り其三ツ分を以て斗尻の大きさと定むべし

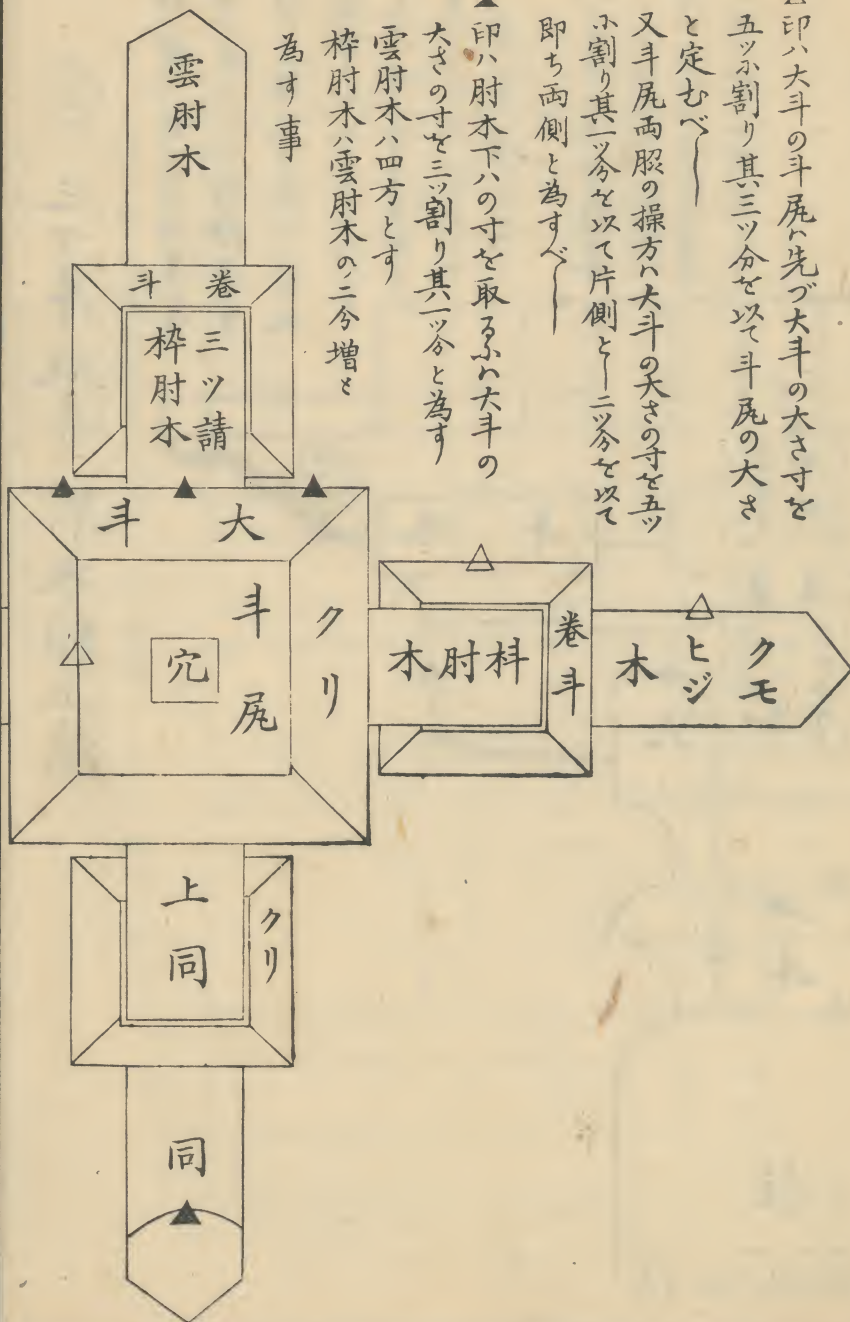
又斗尻両脇の操方ハ大斗の大きさの寸を五ツ分割り其一分を以て片側と二分を以て即ち両側と為すべし

△印ハ肘木下ハの寸を取るふハ大斗の大きさの寸を三ツ割り其一分と為す

雲肘木ハ四方とす

梓肘木ハ雲肘木の二分増と

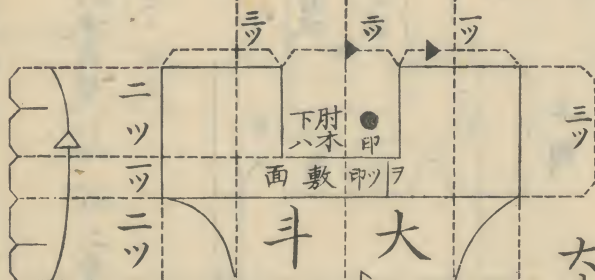
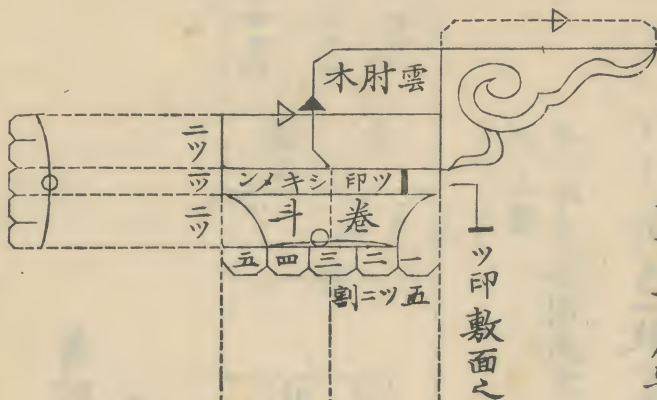
為す事



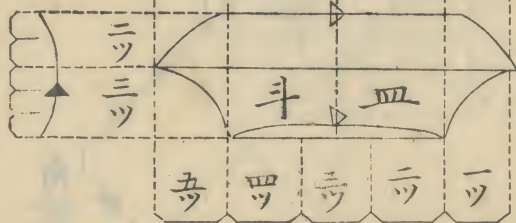
法割斗皿斗と太斗と卷木肘雲（七）

一卷斗の寸法ハ撞下バ二本分と全せい一ツ分と合せろ三ツを以て
 大さと定む又大斗大さの寸を五ツ割り其三ツを以て大
 さと為す斗尻割合方大斗の割方準す可

大斗皿斗大さ柱の大さと同



クリカタ
 リ
 シト
 クリカタ



たろりくツニ尻斗ツ三割ハツ五

○印を五ツ割肘木ニツ
 敷めん一ツくりニツ
 と為すべ

△印五ツ割上同断

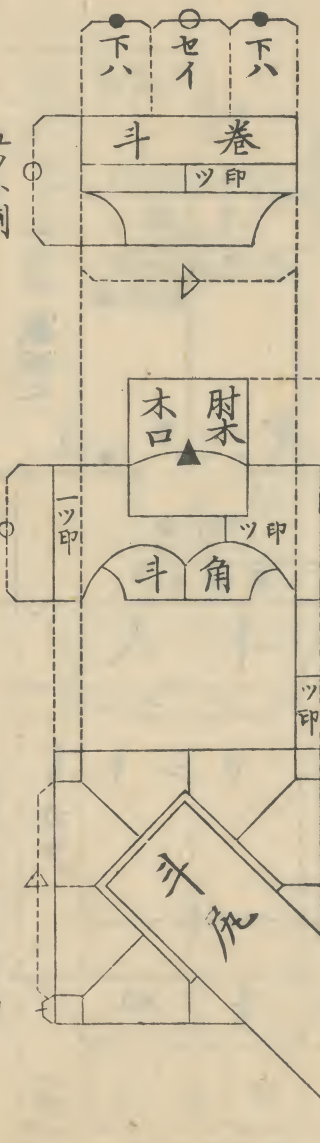
▲印五ツ割上ニツと
 下三ツくりのたとす

⑥

角斗角肘木割法
まこ と まこ ひざき まりほう

角肘木のせいは下の二分の一とす

セノマシ



五ツ不割
セ即ち木間為す

上同

角斗の裏面

榫



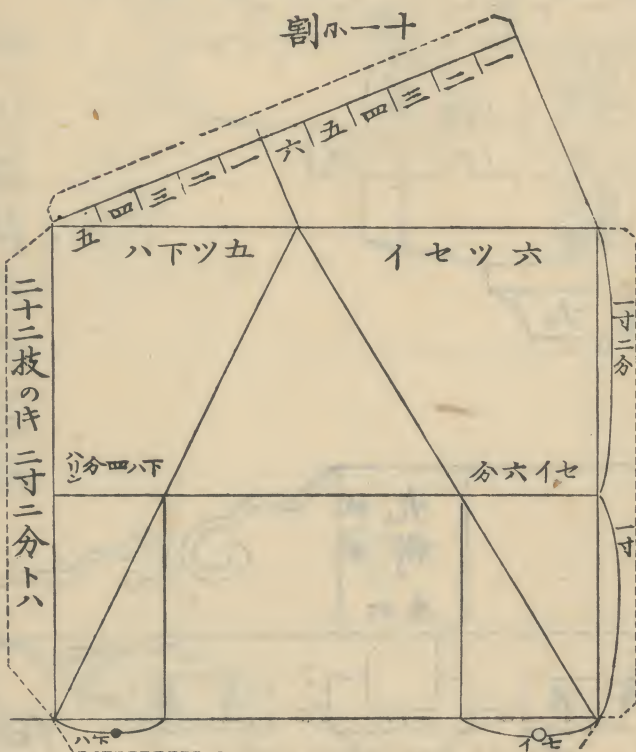
木口
下ハ即ち一枚と為す

一印ハ敷面と為すべし

丸

二十枝樫割并木口大さ割法

此寸法三寸二分とす



其間二尺四寸之片二寸四分

樫木口

七六分

上ハ
タルキ
木コ

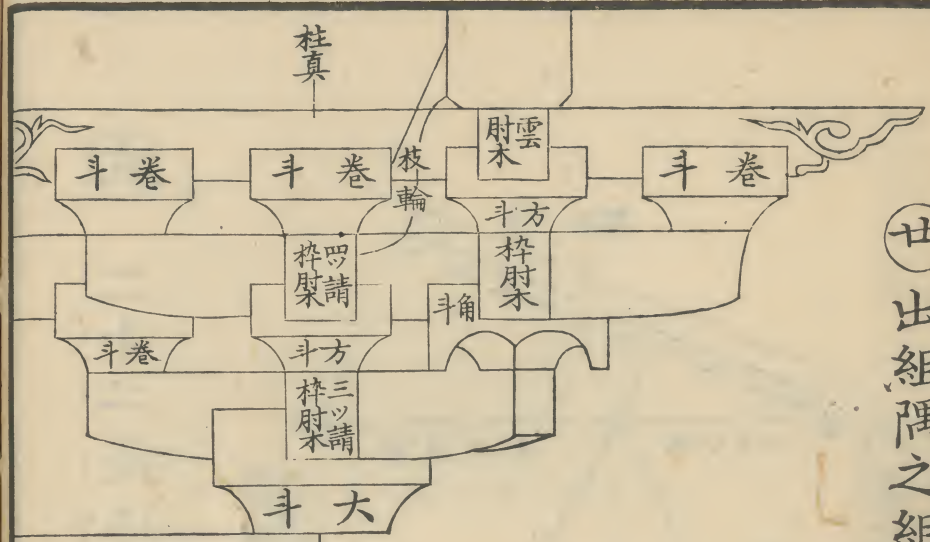
下ハ
零
ハ

但此割合三準し其片之樫数不合せらる

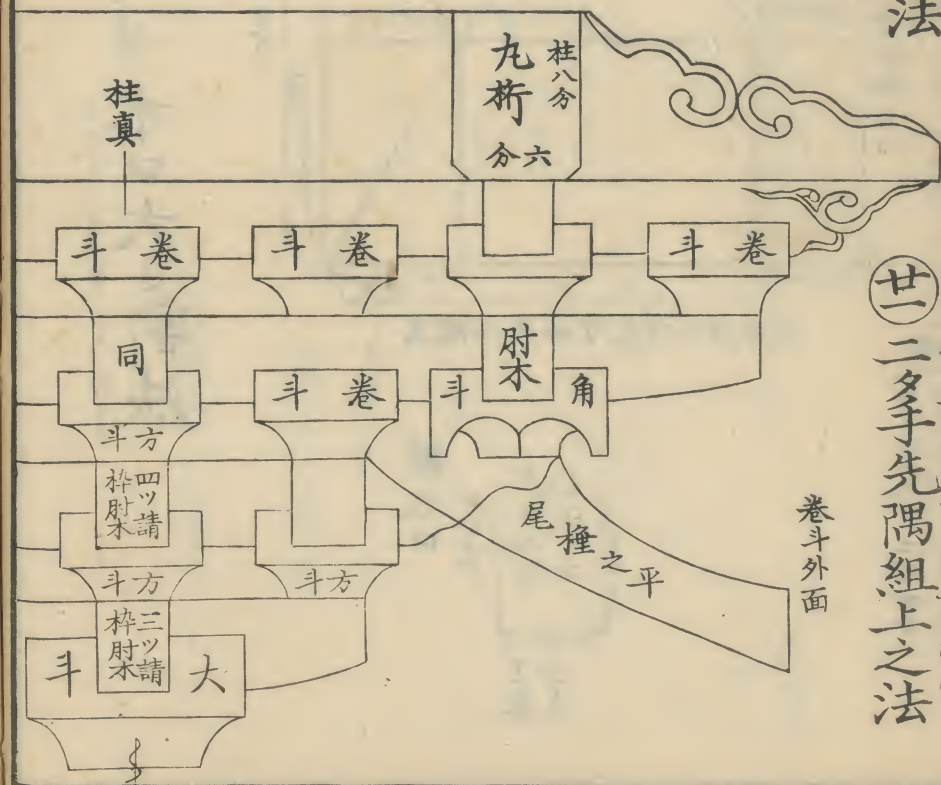
例

(二十四枝片二寸四分
二十六枝片二寸六分)

廿 出組隅之組上之法

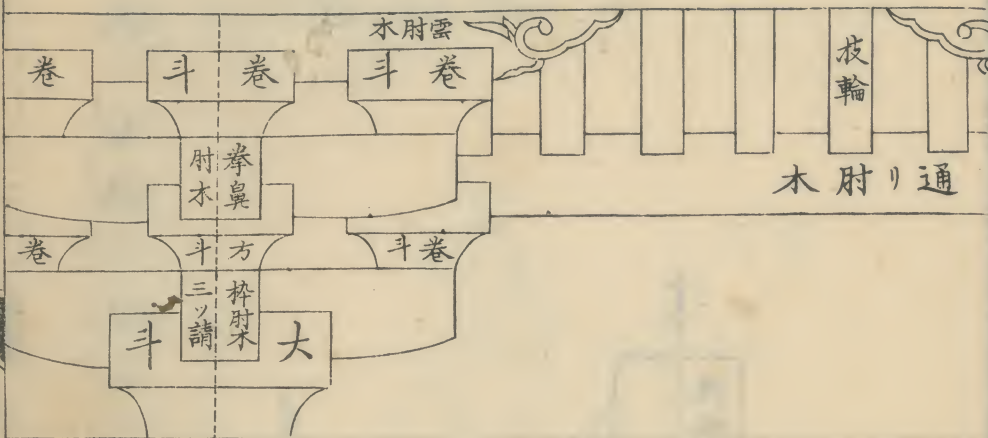


廿一 二季先隅組上之法

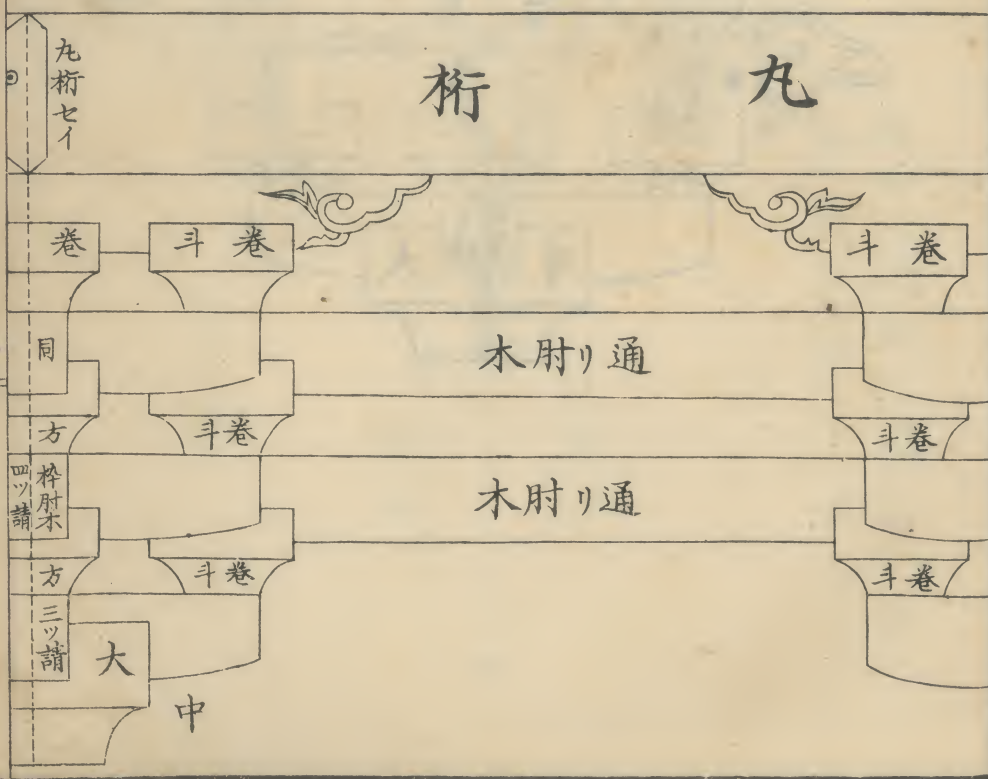


卷斗外面

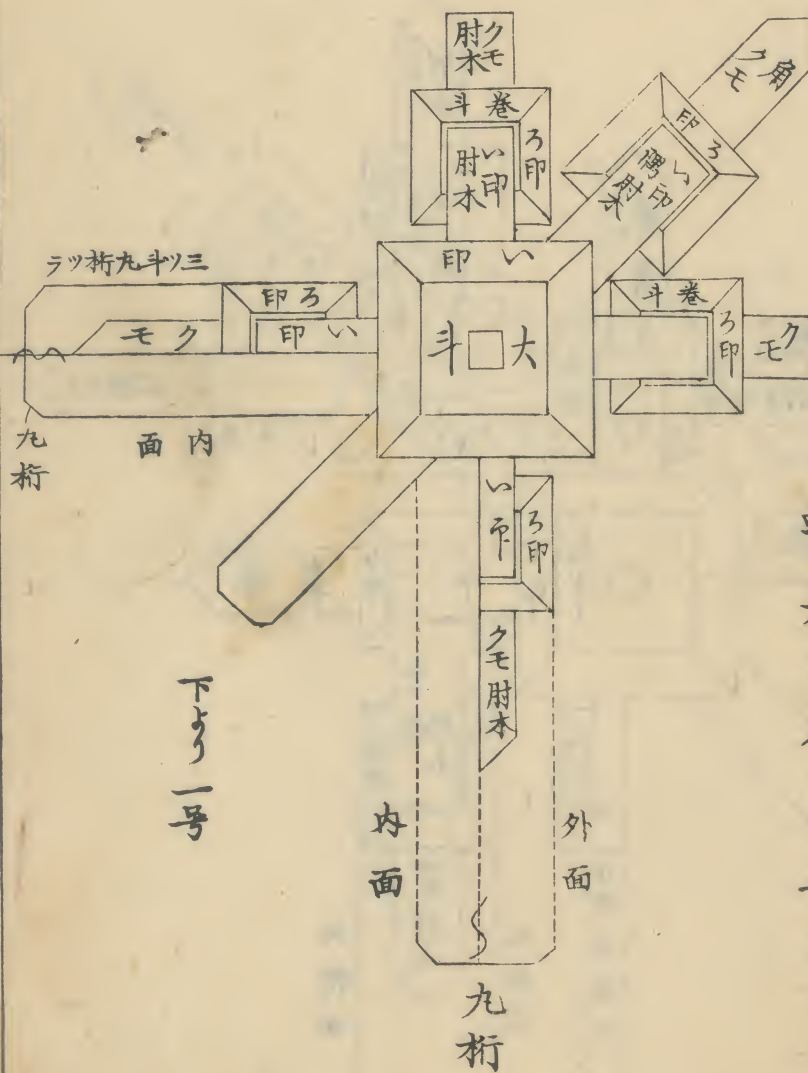
中



丸 桁



法の上組地隅の斗とツ三 三

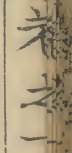


隅肘木隅卷斗圖不現ハすと
雖氏是れを省くとも可なり

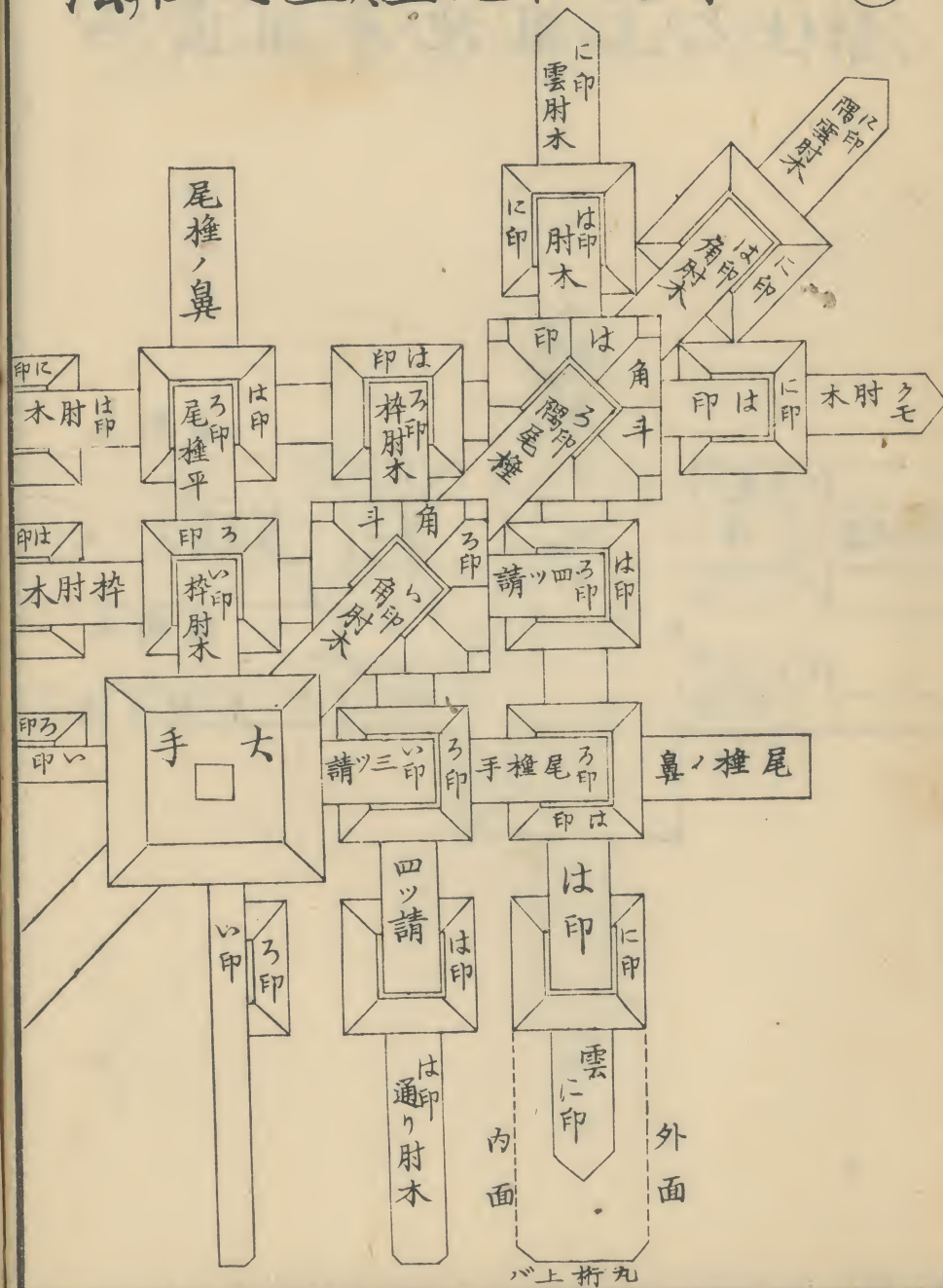
芥子園畫傳



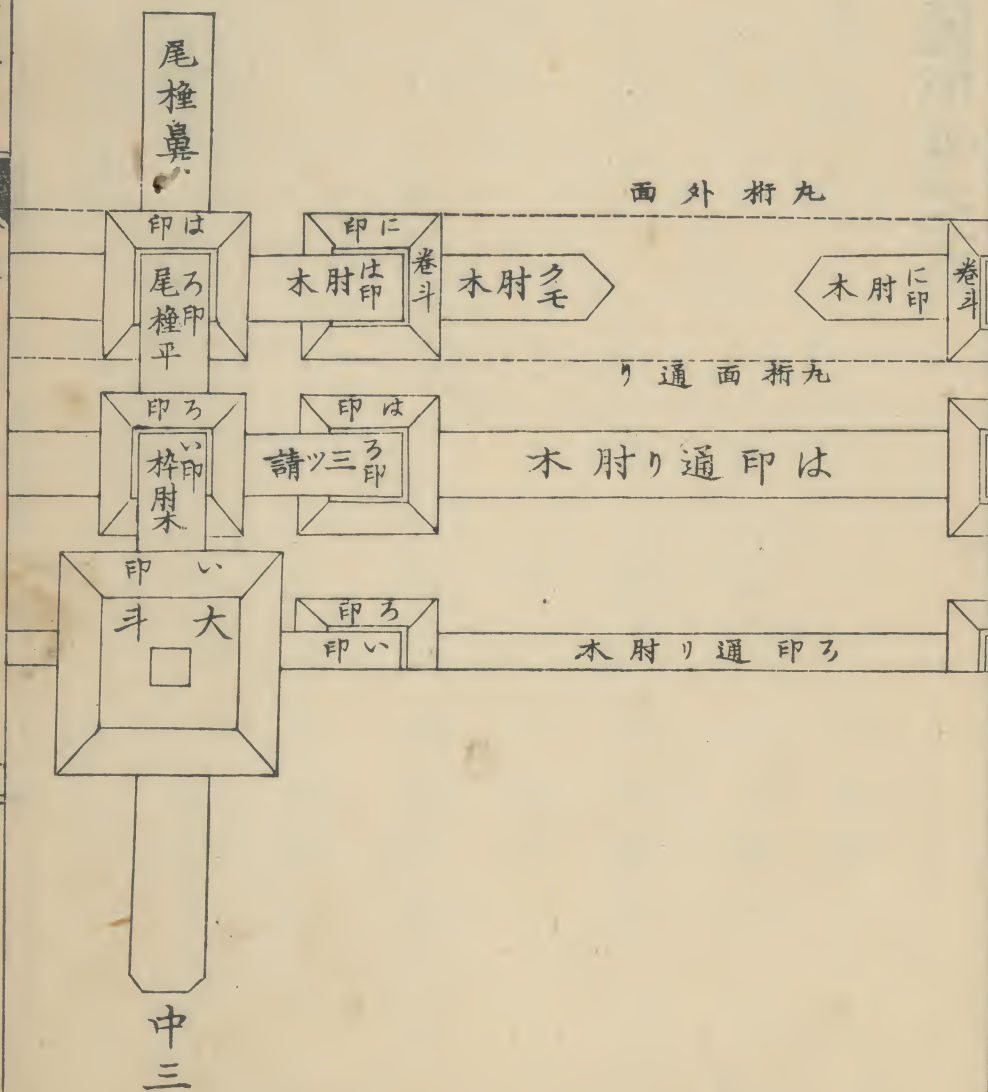
親擢大匠開



法仕之上組地隅先手二 (其)



法仕之地平先手二 (其)



新撰大匠雛形卷之一終

龜田吉郎平著

和洋建築新雛形

石井卯三郎、泉幸次郎合著

新撰大匠雛形大全

久寶庵主人著作

數寄屋構造法

本書目次

○數寄屋由來の事 ○數寄屋諸懸釘
○全疊半に建つる事 ○壁塗一りやう
○數寄屋の組立 ○露地大樣
○利休數寄屋四疊半尺寸法 ○雪隠の仕樣
○洞庫種々寸法 ○諸秘傳寸法集

泉幸次郎著

大匠新雛形全書

○宮○隅短○堂○寺○茶席○石工○道具戸棚類合本

泉幸次郎著

家屋建築雛形

○町家○土藏○建具類○欄間○左官棚○座敷類合本

泉幸次郎著

新撰堂宮雛形

横本全二冊
正價金參拾錢
郵送稅四錢

半紙形金六冊
正價金壹圓貳拾錢
郵稅金拾貳錢

半紙形金六冊
正價金八拾五錢
郵送稅拾錢

和裝牛紙本全五冊
正價金八拾錢
郵送稅拾錢

和裝橫本全六冊
正價金八拾錢
郵送稅拾錢

和裝橫本全六冊
正價金八拾錢
郵送稅拾錢

泉幸次郎著

和洋家具雛形

泉幸次郎著

新撰石工雛形

泉幸次郎著

新撰建具雛形

泉幸次郎著

新撰座敷雛形

泉幸次郎著

新撰欄間雛形

泉幸次郎著

和洋繪樣雛形

泉幸次郎著

西洋建築雛形

泉幸次郎著

新編棚雛形

横本全一冊
正價金貳拾錢
郵送稅貳錢

横本全二冊
正價金參拾錢
郵送稅四錢

横本全二冊
正價金參拾錢
郵送稅四錢

横本全二冊
正價金參拾錢
郵送稅四錢

横本全二冊
正價金參拾錢
郵送稅四錢

横本全二冊
正價金參拾錢
郵送稅四錢

横本全二冊
正價金參拾錢
郵送稅四錢

横本全二冊
正價金參拾錢
郵送稅四錢

泉幸次郎著

◎和洋左官雛形

郵正横 價金全一 送稅貳拾 錢錢冊

泉幸次郎著

◎大匠町家雛形

郵正横 價金全一 送稅貳拾 錢錢冊

泉幸次郎著

◎新撰繪樣雛形

郵正横 價金全一 送稅貳拾 錢錢冊

泉幸次郎著

◎新撰彫工雛形

郵正横 價金全一 送稅貳拾 錢錢冊

泉幸次郎著

◎新撰家具雛形

郵正横 價金全一 送稅貳拾 錢錢冊

泉幸次郎著

◎新撰茶席雛形

郵正横 價金全一 送稅貳拾 錢錢冊

泉幸次郎著

◎隅矩獨稽古

郵正横 價金全一 送稅貳拾 錢錢冊

石井卯三郎著

◎新撰隅矩雛形

郵正横 價金全一 送稅貳拾 錢錢冊

内野清藏著

◎明治新隅矩早學

郵正横 價金全二 送稅金四 錢錢冊

上杉半八著

◎明治新撰建具雛形

郵正横 價金全二 送稅金四 錢錢冊

◎明治新撰當世繪樣集

郵正横 價金全二 送稅金四 錢錢冊

◎新撰繪樣欄間集

郵正横 價金全二 送稅金四 錢錢冊

石井卯三郎著

◎新撰宮雛形

郵正横 價金全二 送稅金四 錢錢冊

石井卯三郎著

◎新撰規矩雛形

郵正横 價金全二 送稅金四 錢錢冊

石井卯三郎著

◎西洋建築雛形

郵正横 價金全二 送稅金四 錢錢冊

右ノ雛形本ハドレモ能ク調ベタモノダ棟梁又ハ大工ト云ハレルモノハ誰レデモ此レヲ見テ置クト非常ノ益ガアル第一高價ナ建物ヲ請負フトカ製作ヲ注文サレテ見テ置クトハナラナイ僅カナ本代位ニハ拘ハラナイカラ買ツテ見テ置クトイハナダトハ或ル棟梁ノ話アル

大阪市南區心齋橋筋安堂寺町西入

發賣所 精華堂

神皇正統記

3/163 安居 秀力 乙



